

令和3年度

徳島市八万中学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

生徒自らが、積極的に学習に取り組もうとする姿勢の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員		
	校長	大阪真智子	
	教頭	吉田 光宏	
	教務主任	新田 恭一	
板東 幸治	天羽 和恵	研修主任	天羽 和恵・板東 幸治
		1学年主任	竹内 宏子
		2学年主任	板東 幸治
		3学年主任	浜崎 加代

校長

大阪真智子

【各校の取組状況の把握について】

・学校評価アンケート、各テストなどによる現状把握、管理職による授業参観、教員自身の振り返りなどを活用

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○小テストなどのスモールステップの振り返りに、コツコツ真面目に取り組む生徒は多い。 ●2極分化が進み、基礎基本の定着が不十分な生徒の割合が多い。また、全体としては、家庭学習時間は少ない。	・家庭学習の充実による、基礎基本の定着	・「家庭学習の必要性」を生徒に理解させる ・保護者への啓発			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○読み取りが必要な問題、記述問題などに諦めずに取り組むことができる生徒が多い。 ●的確に読み取る力、よりわかりやすくまとめる力は課題が多い。	・整理する力 ・読み取る力 ・まとめる力を伸ばす	・基礎基本を定着させるための学習と思考・判断・表現力を育成するための学習とのバランス			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業態度は良好。2分前着席ができ、教師の話もよく聞くことができる。 ●指示には従うが、自発的に動こうとする意欲は弱い。	「なぜだろう」「どうしてだろう」「どうなっているのだろう」「自分はこう思う」「自分ならこうしてみたい」「くらべてみたらどうだろう」など、自ら積極的に学習に参加する	・具体的に目標を設定し、自覚を促す。 ・発問の工夫(しなさい×→どうすればいいと思う○) ・ノートづくり ・評価の工夫			

令和3年度 学力向上ロードマップ



